

会長：平子玲子 札幌市西区琴似4条6丁目5-8-601 (TEL643-3491) 発行人：安高誠吾 Email: syasutaka@bear.odn.ne.jp

幹事会報告：3月12日（水）Zoom会議

出席：大橋、菊地、平子、高田、中島、安高

- 第4回例会：2月23日（日）、手稲ハイランド、参加者4名（岡崎、鈴木、高田、中島）
- 伊藤さんの検定合格を祝う会：3月1日（土）、イタリア料理店「ミアボッカ」琴似店、参加者10名
- クラブ対抗スラローム大会：3月2日（日）、ホワイトパークスキー場、参加者3名（伊藤、大橋、安高）
総合得点：88点 順位：参加12チーム中10位
- 第5回例会：3月9日（日）、手稲ハイランド、参加者8名（伊藤、岡崎、菊地、鈴木、高田、平子、中島、安高）
- 春の雪山登山：磐溪山、3月16日（日）、参加予定者4名（伊澤、岡崎、菊地、鈴木）
- 番外例会：3月27日（木）、国際スキー場、参加予定者3名（菊地、高田、中島）
- 春の登山：4月13日（日）、藻岩山旭山公園コース、参加予定者6名（大橋、岡崎、菊地、鈴木、高田、平子）
- 例会反省事項：例会を6回組む、例会の実施時間（今後検討する）
- 第36回総会：6月7日（土）実施予定
次回幹事会：4月16日（水） 18:00より カフェ・ティアラ

初級指導員検定奮闘記

伊藤 健

指導員検定チャレンジ一年目の昨シーズンは、レポート、ペーパーテスト、滑走実技の応用種目について合格できましたが、教程種目、指導法実技については合格できませんでした。今から思えば教程種目の理解が全く浅かったと思っています。指導法実技についても、「はい、では伊藤さんどうぞ」と言われると、この種目の要点が分かっていないことが露呈して、もっと話して良いのかも分からなくなっていました。

悔しい思いをしてチャレンジ2年目は絶対合格するぞと固い決意でスキーシーズンに臨みました。ほぼ毎週土日、レッスンを受けました。勤労者スキー協議会の指導員育成担当の方々は、レッスンや滑走の動画を録画してメールくださったり、DVDにして送ってくださったりと本当にありがたかったです。自分ではちゃんと滑れていると思って動画で見ると講師の先生が指摘していることが理解できたりしました。この感謝の気持ちからもうどうにか今年、合格したいという気持ちを強くしていました。

デモ選には、直前の模擬試験のつもりで参加しました。点数は、初級指導員としての合格点をもらえた種目と不合格点の種目がありました。実は内心、全種目で合格点をとって安心するつもりでいたのが、焦り、そして落ち込みました。でも、合格点を取れた種目もあったのでポジティブに捉えて教程を改めて熟読し、覚えたポイントを白紙のノートに書いたりして種目の重要点を再整理しました。



合格証を手に喜びの伊藤さん

指導法実技については受検者同士で検定前日にロールプレイング形式での練習をしました。スキーフレンドの三浦裕子さんにはリフトの上で、洗練パラレル1の講習の時に絶対に言わなくてはならないキーワードなどを教えていただき、リフトの上で、何度も繰り返しセルフ講習しました。前日のこのアドバイスと講習実技がなかったら絶対合格点は取れていませんでした。本当に感謝しております。

初級指導員を目指してから他のクラブの方との交流があり、アドバイスや励ましをいただきました。そのおかげで合格できました。みなさんに本当に感謝の気持ちでいっぱいです。初級指導員は所属するクラブで指導が可能なので、中級指導員になるまでは、例会で分かりやすく楽しいレッスンをして指導経験を積みたいと思っています。よろしくお願いします。



我がクラブから久々の指導員の誕生。祝賀会は大いに盛り上がりました。祝いの席は、恒例の居酒屋ではなく、伊藤さん「推し」の琴似のイタリアレストラン。4000円のコース。初めに乾杯。続いて伊藤さんから今回の検定を受けるために、何を重点に置き、どんな練習をしてきたかという報告。その内容は、本号の記事「初級指導員検定奮闘記」に述べられています。ひとつのクラブで指導員を養成するのは難しく、道スキー協の教育部の指導員や他のクラブの方々からのアドバイスや有形無形のサポートが必要です。つまり、指導員は道スキー協全体で養成するものだと思えました。伊藤さんは道スキー協にとっても貴重な50歳代です。これからもスキー技術を磨いて、より上の級の指導員を目指してもらいたと思います。またクラブ内でも指導をよろしく願いいたします。賛助会員の増子さんも祝賀会に参加してくれました。例によって自家製の果実酒を参加者にプレゼント。ありがとうございました。

第42回クラブ対抗スキー競技会

報告：安高 誠吾

今年の競技会は、3月2日(日)、岩見沢市の三井グリーンランド・ホワイトパークスキー場で開催されました。大会出場は12クラブチーム、出場者は105名、ステップからは伊藤、大橋、安高の3名が出場しました。開会式では伊藤さんが選手宣誓。結果は大橋さん(5位、14点)、伊藤さん(5位、14点+タイム申告レース6位、25点)、安高(1位、35点)、合計点数88点で10位入賞、賞状を頂きました。

タイムの早い人の滑りは、内傾角が深く、スキーに真上から荷重して、スキーをたわませています。それによりターンで加速する。ここがターンで減速している普通の滑りとの大きな違いです。練習して来年はタイムを縮めます。それはともかく、レースは速くても、遅くても楽しいですよ。冬の運動会です。来年はみんなで参加しましょう。



第4回例会報告(2月23日、手稲ハイランド)

報告：岡崎 知香



ハイランドに向かう途中は、ものすごい雪が降っていたので大丈夫かと心配しましたが、手稲山に到着する頃には雪が止み、晴れてきたのでホッとしました。例会参加者は、4人でしたがステップのために竹ヶ原さんが急遽参加！指導もしていただき充実(?)した例会となりました。ボーゲンで何回も姿勢とスキーの押し出し、靴とふくらはぎを指1本分入るぐらい前傾姿勢にとみっちり基本を叩き込まれましたが、これがなかなかうまく行きません。でも、言っていることはとても理解できたので次回はそこを意識しながら滑りたいと思います。昼には暖くなり、スキー日和となりました。参加者：岡崎、鈴木、高田、中島

第5回最終例会報告(3月9日、手稲ハイランド)

報告：安高 誠吾

午前中は晴れ。山頂付近では-5℃。雪質は良。2班に分かれ、岡崎さん、鈴木さん、安高は伊藤さんの指導を受ける。平子さん、高田さん、中島さんはフリー滑走。菊地さんはふたつの班を行き来し写真撮影。伊藤さんの指導は丁寧で、長い距離を滑らせるのが良いと思いました。午後から曇り、大粒の雪が降り始める。最終例会なので、早めに切り上げて恒例のお茶会。今年は皆勤賞受賞者はなしでした。上のロッジ付近でオレンジ色のウエアーを着た目立つスキーヤーがいました。俳優の柳葉敏郎さんでした。毎年のようにハイランドに来て、フアンクラブの女性たちと滑っているようです。先頭に立って、彼女たちを引き連れて滑っていました。秋田県出身だけあって上手でした。スキーが趣味だそうです。

編集後記：今期も無事に終了。登山や番外例会は次号で報告します。(安ベエ)